

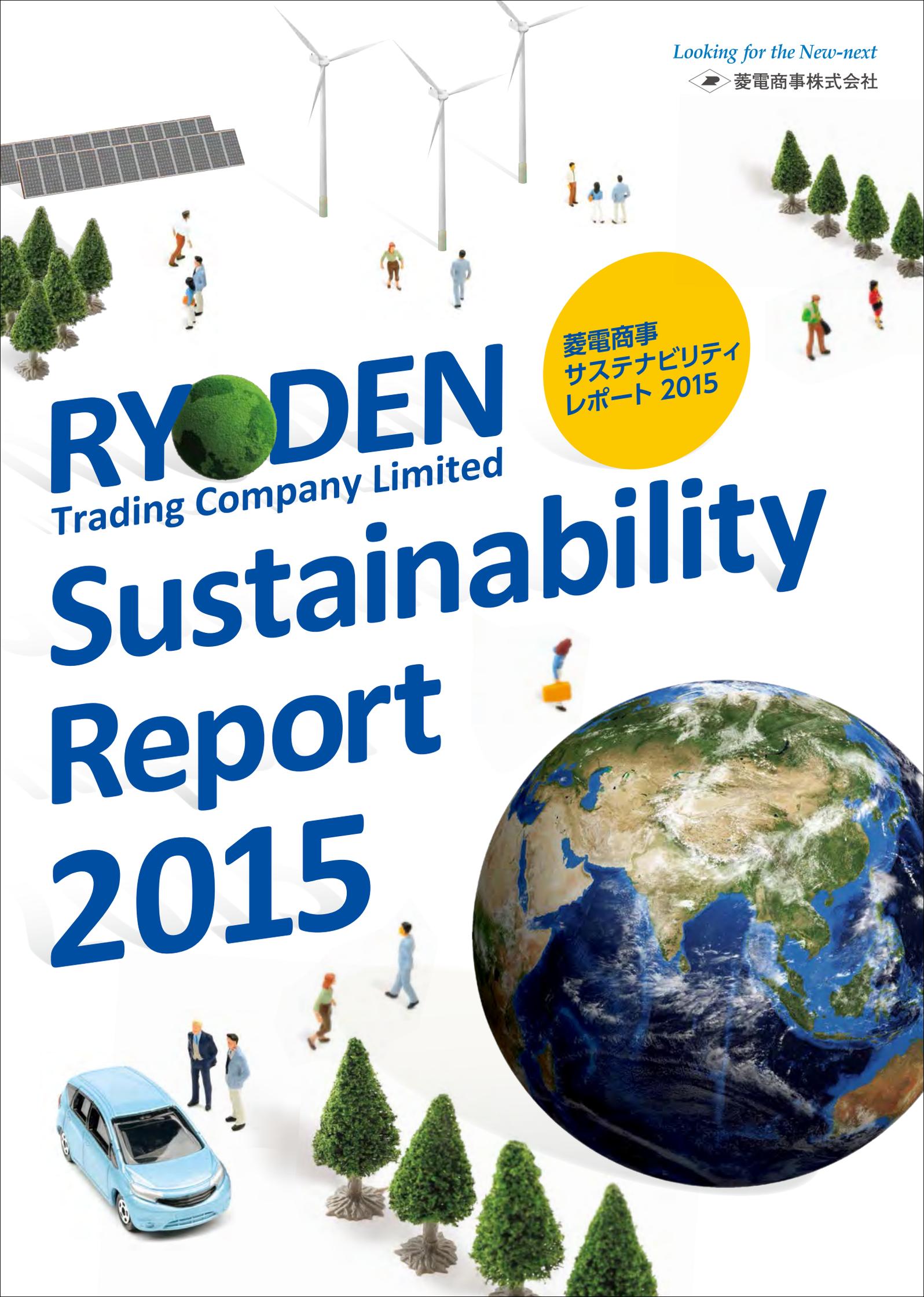
Looking for the New-next

 菱電商事株式会社

RYODEN
Trading Company Limited

菱電商事
サステナビリティ
レポート 2015

Sustainability Report 2015



社長 メッセージ

昨年度の世界経済は、米国の堅調な成長などに支えられ緩やかな回復傾向でしたが、新興国の成長鈍化や欧州の景気回復の遅れなど足踏み感が見られ先行き不透明な状況にありました。

一方、国内経済は、消費税増税や円安による原材料価格の上昇などの懸念要素を抱えながらも、政府による景気対策や日銀の金融政策により円安・株価上昇が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。

その中で当社グループはFAシステムの半導体・液晶関連製造装置、工作機械関連、自動車関連設備に対する売上が拡大しました。また、エレクトロニクスでは国内外での自動車関連電子部品、国内での省エネ関連ビジネス、アジア地域でのOA機器関連向け電子部品の売上が堅調に推移しました。

さて、当社グループは「グローバル化の進展」や「お客様のニーズの多様化」等の大きな変化に対し、利益ある持続的成長に向け、ソリューション事業への構造改革を行い、グローバル・ソリューション・プロバイダーへの変革を実践しています。すべてのソリューションはお客様の課題から生まれると考え、それらの課題から生まれる解決策(ソリューション)は、お客様との緊密なコミュニケーションを通して創出されると信じています。

その中で、当社グループは環境なくして事業活動は成り立たないという認識の下、低炭素社会の実現、循環型社会の形成、生物多様性の対応を推進しております。太陽光発電システムやHEMS・BEMS等のソリューション提案や販売等の事業活動は環境活動そのものであり、地域状況に応じた活動を行っています。

一方、グローバルとは個性あるローカルがそれぞれの

個性を保ちながら双方向につながり、それぞれが多様性を発揮できる集合体と思っています。そうした多様性をきちんと理解し、それぞれの地域に根差した個々のお客様のニーズをしっかりと見極めるため、お客様の近くに行き、お客様に寄り添った活動をする必要があります。国内外の積極的な営業拠点の展開は、そのために進めています。

そして、環境活動を折り込んだ特色ある事業活動を推進するために、日本で取得したISO14001の認証範囲を海外社に拡大するという方法で環境活動のグローバル化を進めています。既に当社グループは、一昨年にシンガポール、昨年は香港とタイの海外社が、当社グループのISO14001認証を拡大し、今年は中国と台湾の海外社が、認証拡大に向け活動しております。

これらの活動を通し、品質・環境に長じた「グローバル環境推進商社」に邁進しております。



取締役社長

山下 聡

経営理念

- 社会の変化に対応し、会社経営の安定と発展に努め、社会に貢献する。
 - 誠実な営業活動と先進的な技術の提供により、取引先の信頼に応える。
 - 社員の人格と個性を尊重し、専門性及び改革心と創造力の高い人材を育成する。
- これらを精神的支柱として時代を勝ち抜く企業になろうとしています。

行動指針

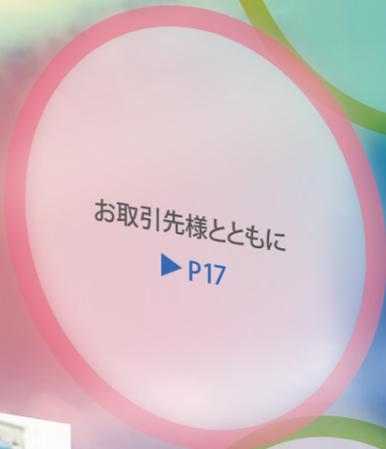
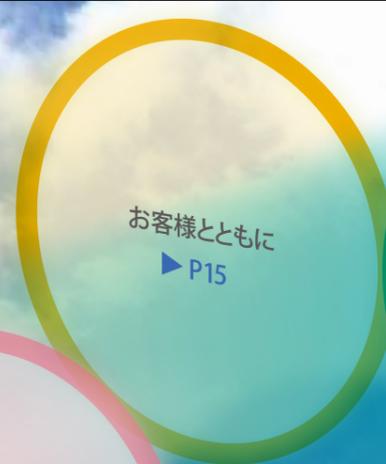
1. 法令・ルールを遵守する
2. 利益ある成長を目指す
3. グローバルな企業として社会に対する責任をはたす
4. 自己の考えを確立し、活力ある組織を創る
5. 人格や個性を尊重し、高い目的意識をもって自己啓発を行う
6. 経営者・管理者は自らの役割を全うする

Looking for the New-next

菱電商事グループのCSR

菱電商事グループは、あらゆるお客様に最適なソリューションを提供する事業活動、事業を通じた地球環境保全活動、地域の一員としての社会貢献活動、多様な人材が活躍できる職場環境づくりなど、多岐にわたる CSR 活動に取り組んでいます。

そして、これからも持続可能な社会形成に向けた活動を推進するとともに、品質・環境に長じた「グローバル環境推進商社」を目指していきます。



品質・環境に長じた
「グローバル環境推進商社」

■ 編集方針

私達の環境に対する思いは、未来の人々と地球環境を共有しているとの認識の下、地球環境をより良い状態で次の世代に引き継ぐことです。

本レポートは、ステークホルダーの皆様当社グループの事業活動だけでは見えない環境活動を含めた CSR 活動をお伝えすることを目的に編集致しました。

なお、作成にあたっては、当社の状況や取り組みを分かりやすくお伝えするために、専門用語は極力避けております。

ステークホルダーの皆様の当社グループ見聞の一助となれば幸いです。

■ Contents

社長メッセージ	02	お客様とともに	15
経営理念	02	株主様とともに	16
行動指針	03	お取引先様とともに	17
菱電商事グループの CSR	04	地球環境とともに	
編集方針	04	環境活動 2014 年度の実績	18
CONTENTS	05	CMS グループの活動	19
Topics 01 菱電商事のソリューション	06	2014 年度環境会計のご報告	20
Topics 02 社員とともに	08	環境管理組織と環境活動の歩み	22
Topics 03 地球環境とともに	10	2015 年度の取り組み	23
CSR ポリシー	12	地域社会とともに	
コーポレートガバナンスの体制	13	生物多様性保全につながる社会貢献活動	24
事業概要	14	社員とともに	
		社員とその家族への責任	26

多様なソリューションで お客様のビジネスを応援します

菱電商事グループはグローバル・ソリューション・プロバイダーとして、日本国内はもちろん、米国や欧州、中国圏、東南アジアなどにも拠点を設立しグローバルネットワークを構築しています。このグローバルネットワークを通じ、製造分野から開発・研究、医療、農業分野まで多岐にわたるソリューション・サービスを提供し、国内外のあらゆるお客様の課題解決を全力でサポートします。



■ 環境エネルギーソリューション分野

再生可能エネルギーやEMS (Energy Management System) の重要性が高まる中、菱電商事グループは「グローバル環境推進商社」として幅広い分野に環境エネルギーソリューションを提供しています。



▶ 詳しくは P10-P11 をご覧ください。

■ HMI・センサーソリューション分野

ディスプレイやタッチパネル、画像処理、EV 車両シミュレータなど、さまざまな HMI (Human Machine Interface) ・センサーソリューションを各分野に提供しています。



■ ビル・マネジメント・ソリューション分野

商業施設や工場、ビル設備における点検・監視・制御・検針の遠隔操作を 24 時間 365 日、グローバルで実現するソリューションを提案します。



■ ネットワークソリューション分野

モニタリングソリューションや資産管理ソリューションなど、最先端のネットワーク技術を活かしたソリューションを提案します。



■ スマートインダストリアルソリューション分野

各デバイスや FA 関連商社としての豊富な経験を活かし、生産管理ソリューションや検査・安全・予防保全ソリューションなどお客様のニーズに的確に応えるソリューションを提案します。



■ オートモーティブソリューション分野

コンポーネントやシステム事業の経験と技術を駆使し、設備の最適化を実現する省人・省力化や管理システムを提案します。



■ メディカルソリューション分野

医療現場の災害対策、エネルギーマネジメント、診断機器や IT システムの販売・リースなど、医療現場のさまざまなニーズにトータルでお応えします。



世界の多様な人材が いきいきと活躍しています

グローバル・ソリューション・プロバイダーとして事業を展開する菱電商事グループでは、さまざまな国籍を持つたくさんの社員が活躍しています。そんな社員たちが「現在携わっている仕事」や「菱電商事グループの好きなところ」を紹介します。菱電商事グループはこれからも多様な人材がやりがいを持って働き、仕事を通して成長できる環境づくりに取り組んでいきます。



Japan
海外のローカルサプライヤーなど新規お取引先様に対する品質指導や生産ライン監査が主な仕事です。菱電商事グループのよいところは、熱い思いを持っている人が多く、目標に対して前向きに一団となって進めるところです。
菱電商事株式会社 品質企画部

Germany
ヨーロッパでパートナーを発掘し、世界中のお客様に付加価値を感じていただける提案を行うことが目標です。菱電商事グループの世界中のメンバーと能力や知識をシェアできること、またそれを発揮できるチームワークが私たちの強さです。
Ryosho Europe GmbH



Indonesia
RYOSHO TECHNO INDONESIAは新しい会社で、私自身も経験が浅いのですが、菱電商事グループは新人の私に常に優しく接してくれ、さまざまな面で支援してくれまます。日々の業務に一生懸命取り組み、早く会社の力になりたいです。
PT. RYOSHO TECHNO INDONESIA



India
2013年に、Ryosho Techno India Pvt Ltdの前身であるRTSインド駐在員事務所にてマーケティング・アシスタントマネージャーとして入社し、社員のみならず家族のように感じています。インドでのパートナーや商材の発掘など新しい可能性を求め取り組んでいます。
Ryosho Techno India Pvt Ltd



Hong Kong
菱電香港有限公司に入社して約12年が経ちました。その間、社内の先輩や同僚などたくさんの方に支えられ、いろいろなことを経験させていただきました。今後は教わった知識と経験を後輩に伝えることで会社に貢献したいと思います。
菱電香港有限公司



Korea
菱電韓国株式会社では、三菱電機のFA製品の営業並びに韓国の高い技術力とコストメリットがある商材やパートナーの発掘を行っています。菱電商事グループは、日本や海外拠点の方とも気軽に情報交換や相談ができるところがいいですね。
菱電韓国株式会社



China
中国国内における基板やデバイス部品などの販売を担当しています。菱電商事グループは単に製品を販売するだけでなく、お客様の将来まで考えてビジネスを行っています。「個性のある会社」とお客様からお褒めの言葉をいただき、やりがいを実感しています。
菱電電子(上海)有限公司



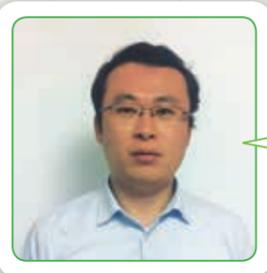
Philippines
RYOSHO TECHNO PHILIPPINES INC. 設立のための各種手続き、フィリピンにおける商材やパートナーの発掘にあたり、菱電商事グループは国の違いや多様性を理解しているので、国籍や年齢を問わずたくさんの方のことを学べます。
RYOSHO TECHNO PHILIPPINES INC.



China
FA部門で大手日系企業のお客様を中心に営業活動を行っています。菱電商事グループは「人財」を大切に、社員の成長と専門知識の教育にも取り組んでいるので、仕事を通じてさまざまな知識を身につけることができます。
菱電電子(上海)有限公司



Hong Kong
SCM(サプライチェーンマネジメント)チームの営業マネージャーとして、お客様への商談開拓に取り組んでいます。菱電商事グループは海外社員に対しても人材育成や人事制度が整っているので、会社に貢献したいという意欲が湧いてきます。
菱電香港有限公司



China
お取引先様との連携による新製品の試作や量産日程調整、品質確認・改善などの業務を担当しています。菱電商事グループは社員の将来や教育について個人の意向を十分に聞き、社員が積極的に仕事に向かえるように導いてくれます。
菱電電子諮詢(深圳)有限公司



Singapore
Ryosho Techno Singapore Pte Ltdに入社して9年になります。入社以来、多くのオーディオ関係のお客様を担当してきました。菱電商事グループは海外連携が進んでいるので、各国の文化やビジネスを通して自らの経験を積み上げることができます。
Ryosho Techno Singapore Pte Ltd



Singapore
品質管理やデリバリーといったSCM(サプライチェーンマネジメント)ビジネスを担当しています。菱電商事グループが現在取り組んでいるソリューション事業などの新たなビジネスに携われることにやりがいを感じます。
Ryosho Techno Singapore Pte Ltd



China
FA部門で大手日系企業のお客様を中心に営業活動を行っています。菱電商事グループは「人財」を大切に、社員の成長と専門知識の教育にも取り組んでいるので、仕事を通じてさまざまな知識を身につけることができます。
菱電電子(上海)有限公司



USA
私はお客様からの受注業務や仕入先への発注業務、納期管理などを行っており、お客様のニーズを満たす仕事に喜びとやりがいを感じています。菱電商事グループがアメリカでさらに成長できるようがんばりたいと思います。
Ryosho USA Inc. Atlanta Branch



USA
営業技術職として、既存・新規製品の拡販に注力しています。菱電商事グループのグローバルネットワークの拡大に伴い、さまざまな国や地域に足を運び、現地のビジネスをサポートできるのはとても有意義なことです。
Ryosho USA Inc. Atlanta Branch



Thailand
自動車産業分野などでの技術支援、新規顧客開拓における技術支援、既存顧客のフォローなどを行っています。菱電商事グループは幅広い経験や知識、技術を持っているので、これらを学ぶことで自分自身の向上につながっています。
RYOSHO (THAILAND) COMPANY, LIMITED



Thailand
半導体製品の部品手配や在庫管理業務、品質管理などの業務を行っています。菱電商事グループのよさは企業ポリシーと思いやりのあるスタッフです。働きやすい職場環境と素晴らしい同僚に恵まれていると実感しています。
RYOSHO (THAILAND) COMPANY, LIMITED



Vietnam
給料や保険計算、採用などの人事、総務業務、翻訳・通訳業務、会計業務などを担当しています。菱電商事グループのプロフェッショナルな職場環境には、自分が挑戦できる多くの機会があります。
THE REPRESENTATIVE OFFICE OF RYODEN TRADING COMPANY, LIMITED IN HO CHI MINH CITY



Germany
REU 営業技術部門に所属しており、2015年4月に開催されたハノーバーメッセでは主担当として見本市の成功とパートナー獲得に取り組みました。国際的な職場環境である菱電商事グループは、営業技術のプロフェッショナルとして成長できる環境です。
Ryosho Europe GmbH



Taiwan
台湾でのソリューション提案や新しいビジネスパートナーの開拓、新商材の開発などを行っています。菱電商事グループのよさはチームプレーができること。他拠点の社員との連携プレーができるところが素晴らしいと思います。
台湾菱電股份有限公司

EMS ソリューションで 地球環境保全に貢献しています

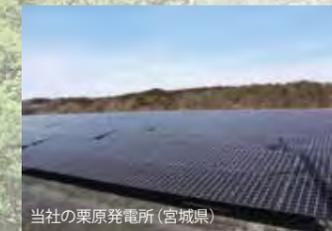
地球環境保全は、持続可能な社会の実現のために世界的規模で取り組むべき課題の一つです。菱電商事グループは、エネルギー監視・制御システムからエネルギーマネジメント、再生可能エネルギーまで、幅広いEMSソリューションを提供しています。お客様のニーズや課題に合わせ、プランの立案、設計、施工、運営、管理までをトータルでご提案するとともに、地球環境負荷低減に寄与します。

再生可能エネルギーソリューション

環境保全や災害時におけるエネルギーの自給自足などの観点から、再生可能エネルギーの必要性は今後ますます高まるとみられます。菱電商事グループでは、栗原（宮城県）、前橋（群馬県）、浜松（静岡県）の3箇所に太陽光発電所を建設し発電事業を行うとともに、各拠点及び各社員のスマートフォンで発電状況をリアルタイムに遠隔監視出来るシステムを導入しています。こうした発電事業で培ったノウハウと高い技術力を統合したのが再生可能エネルギーソリューションです。プランの立案から収益計画、発電所の設計・施工、運用、遠隔監視まで、太陽光発電事業に関するあらゆるサービスをワンストップで提供します。

菱電商事グループの 太陽光発電事業実績

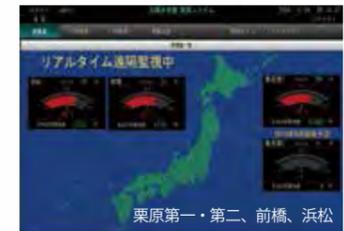
発電設備	出力規模
栗原発電所 (宮城県)	1,000kw
前橋発電所 (群馬県)	37kw
浜松発電所 (静岡県)	50kw



当社の栗原発電所(宮城県)



パワーコンディショナ



栗原第一・第二、前橋、浜松

BEMS・HEMS・FEMS ソリューション



本社ショールーム

菱電商事グループでは、様々なネットワーク利用によるオフィスやスマートハウス、工場に対し、最適なエネルギー監視・制御システムを提案しています。とくにBEMS (Building Energy Management System) については、ショールームを設置してBEMSによる省エネ・コスト削減の実証を行い、その結果をソリューションの向上に活かしています。

パワーマネジメントソリューション

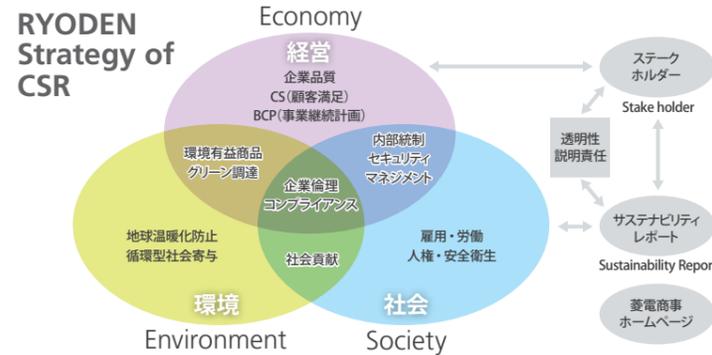
安全かつ効率的に消費電力を削減するためには、信頼性に優れたパワーマネジメントシステムが不可欠です。菱電商事グループでは組み込み制御システム用途の半導体を活用することにより、高性能でコストパフォーマンスの高いパワーマネジメントシステムを提案しています。

BCP ソリューション

近年、災害や事故などの際に事業への影響を最小限に抑え、すぐに事業を再開させるための「事業継続計画 (BCP)」の重要性が広く認識されるようになってきました。菱電商事グループではお客様の事業内容を詳細に把握・分析した上で、最適なBCPソリューションを提案します。

CSR ポリシー

菱電商事グループは、事業活動を通じて地球環境保全に貢献したいと考えています。そのため「環境基本理念」および「環境方針」を制定し、これらに立脚した事業活動を推進しています。地球環境をより良い状態で次世代に引き継ぐため、菱電商事グループはこれからも尽力していきます。



■ 環境基本理念

菱電商事グループは、未来の人々と地球環境を共有しているとの認識の下、より良い地球環境を次の世代に引き継ぐことが大きな課題であり、企業活動においても地球環境への積極的な対応が重要な使命であると認識しております。当社は、コンポーネント（部品、機器単品）とソリューション（提案型システム）を幅広い分野に展開している技術商社として、経営理念に掲げる「社会に貢献し、お取引先の信頼に応える事業活

動」を実践するなかで、環境への取り組みを経営の最重要課題のひとつとして位置づけ推進します。

環境に配慮した部材・製品・システム及び、ソリューション・サービスの取扱いを積極的に進めるとともに、自らの活動が及ぼす環境負荷の低減、製品含有化学物質の管理、生物多様性への対応に努めます。

■ 環境方針

菱電商事グループは、地球環境の保全に関する基本理念に基づいて構築し、運営している環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。事業活動の推進にあたっては、以下の方針をもってこれに取り組みます。

1 環境に関する法規則を遵守するとともに、環境保全に関する社会的要請及び顧客要求事項に応えていきます。

- 1) 環境マネジメントシステムの運用による環境負荷の低減
- 2) 製品含有化学物質管理システムによる適切な情報提供と管理
- 3) 生物多様性に配慮した社会貢献活動の推進

2 下記の項目を、環境管理重点テーマとして取り組み、定期的に見直しを実施します。

- 1) 環境の保全に効果的な部材・製品・システム(太陽光発電を中心としたエネルギー管理システム等)及び、ソリューション（環境ソリューション等）・サービスの積極的な取扱い
- 2) 事務所内および車輛の環境管理の徹底と、廃棄物の抑制・適正管理・適正処理・省エネルギー、省資源、環境汚染防止などに有効な施策の実施
- 3) 環境負荷低減のため、事業活動に必要な設備・備品全般において計画的な環境投資の推進

3 環境基本理念と環境方針を当社で働く、または主として当社のために働くすべての人に周知徹底します。また、全員がこれを理解し実践できるよう、教育・啓発活動を推進します。

環境方針は、定期的に見直しを行い、必要に応じて改訂いたします。

4 仕入先・協力業者・関係会社などに対して当社の方針を示し、関連情報を伝達することにより、理解と協力を求めます。

5 環境基本理念と環境方針は、印刷物及び電子化文書で、一般の人々にも公開します。

2014年4月1日
取締役社長
山下 聡

コーポレートガバナンスの体制

企業価値を継続的に高めていくためには、コーポレートガバナンス（企業統治）を有効に機能させることが重要です。菱電商事グループではグループ行動指針に基づき、経営の「透明性」「倫理性」「説明責任」及び「情報開示」に努めるため、さまざまな施策に取り組んでいます。

■ コーポレートガバナンス体制

当社は、グループ行動指針に「経営に有益かつ十分なコーポレートガバナンス（企業統治）を推進する」と定めており、経営の「透明性」「倫理性」「説明責任」及び「情報開示」に努めるため諸施策に取り組んでいます。

当社の取締役会は、取締役16名（うち社外取締役1名）で構成され、月1回定例開催しており、経営の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。なお、取締役の任期は1年で、経営責任の明確化を図るとともに、機動的な取締役会が行えることを目的として、取締役会の書面決議を採用しています。また、社外取締役には、第三者の観点から業務執行に関する助言や牽制機能を担っていただいています。

取締役会の諮問機関として、経営の透明性とスピーディな意思決定を行うために、社長・役付取締役及び担当取締役などで構成される経営会議を開催しており、重要事項に係る検討を行っています。また、常勤監査役も出席し、協議の適正化を図っています。

当社の監査役会は、常勤監査役2名および社外監査役2名で構成されており、取締役会及び重要会議に出席しています。監査役は各部門・支社に対する業務監査及び子会社監査を実施し、その結果を監査役会及び代表取締役に報告を行っています。また、内部監査部門及び会計監査人も定期的に情報及び意見の交換を行い、監査の充実を図っています。

■ 内部統制システム

当社は、業務が法令・定款に適合するために、内部監査部門において、当社及び当社グループ会社に対する業務監査及び会計監査を行い、会社の業務活動が適正に行われているかを監査しています。なお、会計監査人と監査役は、定期的に相互の情報交換や意見交換を行い、監査の実効性と効率

性の確保を図っています。

また、取締役社長を委員長、役付取締役を委員とする「内部統制統括委員会」で内部統制に関する基本方針の検討や実施状況の確認を行っています。

■ コンプライアンス体制

当社は、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題とし、コンプライアンスに関する規程を定め、従業員に対する教育を徹底しています。企業活動におけるコンプライアンスの徹底のため、担当取締役を委員長とする「倫理・遵法委員会」を設置し、定期的にコンプライアンスに関する推進事項を定め実行すると

ともに、内部監査部門がコンプライアンス遵守状況を監査しています。

また、反社会的勢力には毅然とした態度で臨むことを当社「グループ行動指針」に定め、これを徹底し、そのための体制整備を行っています。

■ リスクマネジメント

当社は、リスクマネジメント基本規程を定め、担当取締役を委員長とする「リスクマネジメント委員会」において、リスクの抽出を行い、発生の可能性及び影響度などをもとに対策を講じ、

重要事項については経営会議および取締役会において審議をし、当社グループ全体の多面的なリスクマネジメントを行っています。

■ 情報セキュリティへの取り組み

当社グループは、社内情報システムへの不正アクセス対策及び企業機密情報、個人情報の漏洩防止策を継続的に推進し、従業員に対する教育を徹底しています。

ン管理し、入室管理をICカードで行うなど、セキュリティの強化をしています。

・事務所のセキュリティガイドラインを設け、各事業所をゾー

・業務用パソコン及びサーバーの一元管理システムを導入し、クライアントの使用禁止ソフトなどの排除を行っています。

事業概要

菱電商事グループは1947年の設立以来、先進的な技術と誠実な営業活動を通じて、お客様の満足度向上に努めてきました。さらに2013年度からはワールドワイドに付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を目指し、中期計画を推進しています。

■ 会社概要

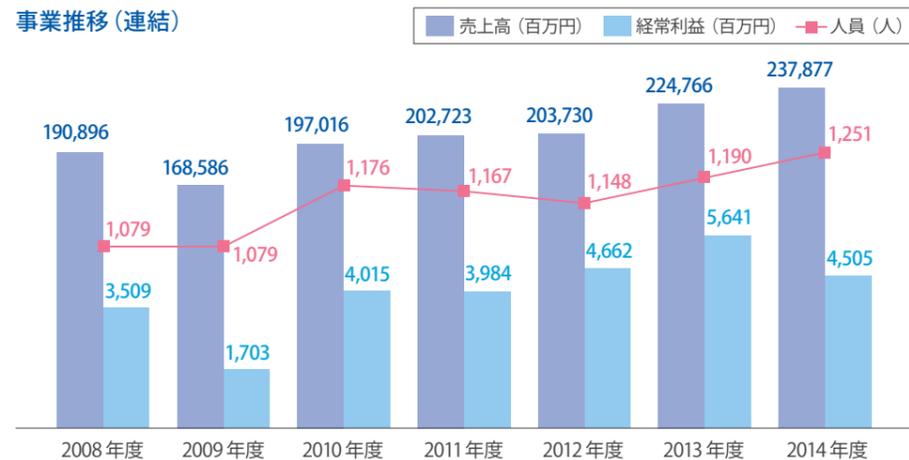
社名	：菱電商事株式会社
本社所在地	：東京都豊島区東池袋三丁目15番15号
代表者	：取締役社長 山下 聡
設立年月日	：1947年4月22日
資本金	：103億34百万円(2015年3月31日現在)
売上高(連結)	：2,378億77百万円(2014年度)
主要取扱品	：電気・電子機器、情報通信機器、産業機器、建設環境機器などの販売
社員数	：983名(2015年3月31日現在)
グループ社員数	：1,251名(2015年3月31日現在)

■ 事業概要

世界経済は、米国の堅調な成長などに支えられ緩やかな回復傾向にあったものの、新興国の成長鈍化や欧州の景気回復の遅れなど足踏み感が見られ先行き不透明な状況にありました。一方、国内経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動は見られたものの、円安・株高などによる企業収益の改善や設備投資の回復により、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの取引に関する業界は、デジタル家電業界の低迷は依然として続いているものの、産業機器業界や自動車関連及びエネルギー関連では、概ね堅調に推移しました。このような状況下、当社グループは、ワールドワイドに顧客に

付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を図るべく、中期経営計画「GSP・15 (Growth Strategy Plan 2015)」の中間年度として諸施策を進めています。2014年度においては、ソリューション事業加速に向けた事業本部の一本化及びソリューション専任組織の設置などの組織改革やソリューションビジネスの進化を図り、顧客に密着した活動をさらに充実させるため、国内、米国及び東南アジア地域での拠点拡充などの施策を進めてきました。その結果、下記の通りの経営成績となりました。

事業推移(連結)



お客様とともに

お客様のかけがえのないパートナーとなることを目指して

菱電商事グループは、グローバル・ソリューション・プロバイダーとしてお客様のニーズや課題を解決するベスト・ソリューションを提供し、お客様のかけがえのないパートナーとなることを目指しています。

■ オール菱電商事グループで新たなソリューション事業を

2014年4月、菱電商事グループはお客様満足のためのさらなる向上のために、基幹事業であるFAシステム、冷熱システム、ビル情通システム、電子デバイス事業に加えまして、新たにシステム・ソリューション事業部を発足しました。これは事業分野の枠を越え、お客様のニーズや課題をシステム・ソリューション事業部全体で共有することで、お客様に「オール菱電商事」で対応できる体制を目指したものです。従来のようにお客様と“点”でおつき合いするのではなく、“面”でおつき合いすることにより、お客様のニーズや課題をより深く理解・分析し、それを解決するためのベスト・ソリューションを迅速に提案できるよう努めています。

また、システム・ソリューション事業部はお客様のニーズに寄り添いながら、新たなソリューション事業を創造していくことを目指しています。現在、同事業部はビルマネジメント部、オートモーティブシステム部、OA・リビングシステム部、インダストリアル計装システム部などの11部門(2015年4月時点)で推進しています。今後もさまざまなお客様のニーズに応える新たなソリューションを創造・提案し、お客様のかけがえのないパートナーとなることを目指します。



■ お客様の“ニーズの本質”を見極めた提案を目指す

菱電商事グループでは、お客様の“ニーズの本質”を見極めた提案を目指しています。例えば、あるお客様から「太陽光発電を導入したい」という依頼があった場合、営業担当者は技術力を基本にお客様の課題を丹念に掘り起していきます。そうした過程から、お客様が本当に望んでいるのは「太陽光発電設備の設置のみではなく、災害時の事業継続計画(BCP)の導入である」といった“ニーズの本質”を見極め、その上でベスト・ソリューションを提案することに力を注いでいます。「困ったことがあったら、菱電商事グループに相談してみよう」とお客様に思ってもらえる企業を目指し、これからもお客様の“ニーズの本質”に的確に応えるソリューションを提案していきます。



■ BCPソリューションでお客様のビジネスをサポート

災害や事故などの際に事業への影響を最小限に抑え、迅速に事業を再開させるためのBCPソリューション。菱電商事グループでは、災害時の電源供給や停電・瞬低からの機械保護などさまざまなBCPソリューションを提供し、お客様のビジネスをサポートします。

わたし×CSR

菱電商事グループはこれからも変わりつづけます

システム・ソリューション事業部の事業部長として、主に事業計画や部門戦略の策定などに携わっています。お客様のニーズや課題に寄り添いながら新たなソリューション事業を創造する取り組みは、当社グループにとって前例がないことなので道を切り拓いていく苦勞もありますが、そのぶん大きなやりがいを感じます。システム・ソリューション事業部発足から1年が経ち、お客様から「菱電商事は変わったね」「面白くなったね」という言葉をいただくと非常に嬉しいです。菱電商事グループはこれからも変わりつづけていきますので、ぜひお声がけください。



菱電商事株式会社
ソリューション事業本部
システム・ソリューション事業部長
中村 真敏

お客様とともに
株主様とともに
取引先様とともに
地球環境とともに
地域社会とともに
社員とともに

安定配当の維持と積極的な情報発信を通じ 株主様との信頼関係を強化

菱電商事グループは、安定配当の維持と株主様への還元をめるとともに、正確な情報開示に取り組んでいます。また、皆様のご意見を真摯に受け止め、事業活動に反映することを心がけています。

株主様への 安定配当の維持

菱電商事グループでは、株主様への利益還元を経営における重要課題の一つと位置づけ、安定配当の維持に努めています。2015年3月期においては、増収ながらも営業利益、経常利益、当期純利益は減益となりましたが、配当については2014年5月公表のとおり、1株あたり24円（年間）といたしました。

株主様への情報開示と 活動報告

菱電商事グループでは、毎年6月と12月に株主の皆様へ「株主通信」をお送りしています。「株主通信」では、当社取締役社長・山下聡のご挨拶や経営戦略、ソリューションのご紹介などの基本情報に加え、太陽光発電事業の開始、池袋本社のリニューアル、東南アジアへの拠点増設など、その時々の特ピックスを紹介し、日頃よりご支援いただいている株主様に菱電商事グループへの理解をより深めていただける誌面づくりに努めています。



さまざまな媒体を活用した 情報発信

菱電商事グループでは、ステークホルダーの皆様当社グループの理念や経営方針、事業戦略について知っていただくため、さまざまな媒体を通して積極的な情報発信を行っています。例えば、『日経ビジネス』（2014年6月9日号）では、「卸売商社から問題解決提案型商社への進化」というテーマで、利益ある持続的成長のための当社グループの施策を紹介。また、『週刊東洋経済』（2015年3月28日号）では、「GSP（グローバル・ソリューション・プロバイダー）宣言：商社を超える商社へ」と題し、お客様とともに考え、お客様とともに成長する、商社を超えた商社を目指す当社グループの取り組みを紹介しました。ステークホルダーの皆様当社グループに対する理解と信頼を深めていただくため、菱電商事グループは今後もさまざまな媒体を通して積極的に情報を発信していきます。



TOPICS

『週刊東洋経済』（2015年3月28日号）
「株主還元 & ROE 上昇期待ランキング 100」
「好業績 & 高配当利回りランキング 50」にランクイン！
『週刊東洋経済』（2015年3月28日号）では、「有望銘柄ランキング 300」と題した特集を掲載。その中の「株主還元 & ROE 上昇期待ランキング 100」で、菱電商事グループは35位にランクイン。また、「好業績 & 高配当利回りランキング 50」でも、当社グループは34位にランクインしています。

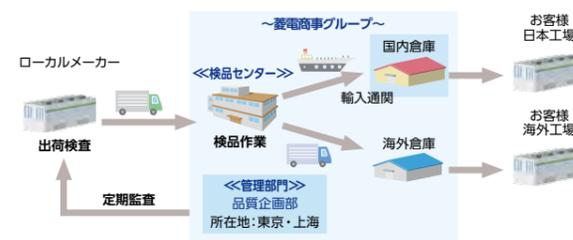
順位	銘柄名	ROE	配当利回り
30	0628 テクニクスHD	2.99	23.1
31	0431 三井物産	2.99	46.7
32	8032 日本郵便HD	2.94	7.1
33	1101 大東建託	2.94	4.4
34	9084 菱電商事	2.93	11.1
35	2651 ローソン	2.93	4.9
36	9437 NTTドコモ	2.92	1.5
37	8270 ユニグループHD	2.90	4.2
38	8016 オンワードHD	2.89	16.4
39	6872 アサヒHD	2.88	7.7

世界各国のお取引先様と Win-Winな関係をつくるために

菱電商事グループは、製品や技術調達において国内外約2,000社のお取引先様と連携しています。これからも公正・公平な取引を徹底するとともに、信頼関係の強化を目指していきます。

普遍的な価値の 「品質」を提供するために

菱電商事グループはこれまで、お客様のニーズに合わせて商材を提供して参りました。さらに当社グループは、日本のメーカーで培った品質保証ノウハウを移入し、現在「品質マッチングサービス」に注力しています。日本国内はもちろん中国圏、東南アジア、欧米各国には、それぞれ優れた技術や特徴のあるソリューションを持ったローカルメーカー等のお取引先様が多数存在します。当社グループはグローバルネットワークを通じて徹底的にリサーチし、そうした優秀なお取引先様を発掘し、品質保証のための様々な指導を行った上で、お客様とのマッチングを図っています。一例として、中国のあるお取引先様は1年間の指導・準備期間を経て日本の大手自動車メーカー様へのマッチングを行った結果、1年間流出不良ゼロの好成績を上げ、優秀新規サプライヤーとしての表彰を受けました。菱電商事グループは今後も各国のお取引先様との連携を強化し、新たなソリューションやビジネスチャンスを創造していきます。



お取引先様同士をつなぐ 架け橋として

菱電商事グループはお取引先様同士をつなぐ架け橋となり、一つのチームを形成することで、お取引先様の市場競争力を向上する取り組みも行っています。例えば、設計力が突出している、技術力に優れているなど、お取引先様にはさまざまな特徴があります。こうしたお取引先様の特徴を調査・分析し、最適なお取引先様同士をマッチングすることで新たなビジネスチャンスの創出を目指していきます。

お取引先様のネットワークを ヨーロッパにも拡大

2015年4月13日～17日、ドイツ・ハノーバー市にてインダストリアルオートメーションに特化した世界最大級の専門技術展「ハノーバー・メッセ国際産業技術見本市」が開催されました。菱電商事グループはハノーバー・メッセに初出展し、産業システム向けソリューションを中心にさまざまなソリューションを提案しました。ハノーバー・メッセ出展の最大の目的は、新たなお取引先様とソリューションの発掘にあります。いずれはヨーロッパのお取引先様とコラボレーションして新しいソリューションを創造し、日本をはじめとするアジアで展開することを目指しています。



わたし×CSR

グループ一丸となって 「品質マッチングサービス」を促進します

2009年に品質企画部が発足し、お客様とお取引先様のマッチングを図る「品質マッチングサービス」をスタートさせました。私はその当時から「品質マッチングサービス」の企画・設計・運営の責任者を務めています。これは当社初の試みですべてが手探りでしたが、現在は品質企画部や営業担当者、海外拠点の品質管理担当者などグループ全体でお取引先様の発掘とお客様とのマッチングに取り組んでいます。これからも菱電商事グループは新たなビジネスチャンスとソリューションの創造に尽力していきますので、ご興味のあるサプライヤー様はぜひお声がけいただければと思います。



菱電商事株式会社
取締役 品質企画部長
小川 義明

お取引先様とともに
株主様とともに
取引先様とともに
地球環境とともに
地域社会とともに
社員とともに

環境活動 2014 年度の実績

エコオフィスの取り組みとして、2014 年度は「電気使用量の削減」「廃棄物最終処分量率の削減」「営業車の燃費向上」「森林循環紙の使用」を目標とし、そのすべてにおいて目標を達成しました。

エコプロダクツの取り組みでは「重点環境商品（省エネ、新エネルギーアイテム商材）の売上」を目標に掲げ、目標を達成しました。

エコオフィス

電気使用量の削減

目標：2010 年度比 18.3%削減 1,995.5kwh
実績：2010 年度比 19.0%削減 1,979.4kwh



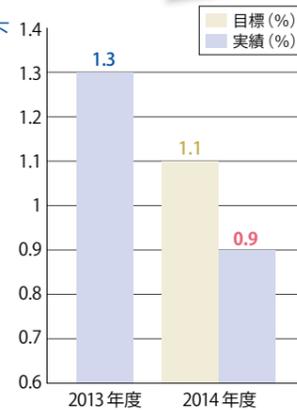
目標達成

廃棄物最終処分量率の削減

目標：最終処分量率 1.1%以下

処分ルートの調査を行い
処分ルートの見直し実施

実績：最終処分量率 0.9%



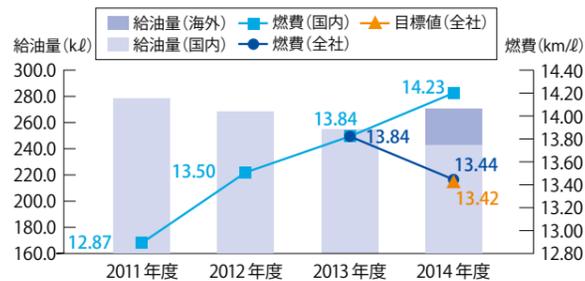
目標達成

営業車の燃費向上

目標：2011 年度比 8.6%向上

- HV車、低燃費車等への入替
- エコドライブの徹底（急発進・急加速の抑制）

実績
全社：8.8%向上
(13.44km/l)
国内：10.5%向上
(14.23km/l)



目標達成

森林循環紙の使用

全事業所で、森林循環紙を 100%使用

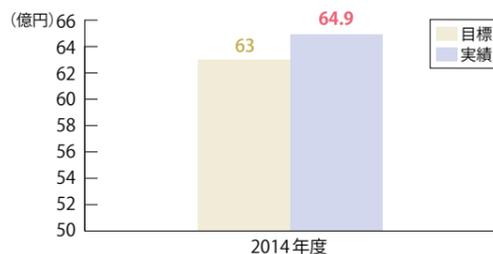


目標達成

エコプロダクツ

重点環境商品（省エネ、新エネルギーアイテム商材）の売上

2014 年度の目標：63 億円
実績：64.9 億円



目標達成



CMS グループの活動

化学物質管理の取り組みは世界中に広がりを見せており、企業においても諸外国の化学物質管理規則への対応は重要な課題となっています。そこで、菱電商事では製品含有化学物質情報を管理する CMS グループを設立。化学物質情報の適切な管理とスムーズな情報伝達に注力しています。

化学物質情報を適切に管理し、世界の要求に応える

2002 年にヨハネスブルグで開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(WSSD: World Summit on Sustainable Development) において、「2020 年までに化学物質の製造と使用による人の健康と環境への著しい悪影響を最小化することを目指す」との目標が掲げられました。これを受け、各国では化学物質管理の法令の改正・制定が行われ、企業においても諸外国の化学物質管理規則への対応が不可欠となってきています。

たとえば、EU では REACH 規則 (Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals) を定めており、サプライチェーン上流の化学品メーカーから下流の最終製品メーカーまで、さまざまな業界に化学物質の管理を求めています。EU 域内で生産または輸入される化学品については届出や登録が義務づけられ、最終製品メーカーも特定の条件に当てはまる場合は製品含有化学物質に関して届出や登録、消費者などへの情報提供が求められます。こうした動きを受け、当社では製品含有化学物質情報を管理する CMS グループ (化学物質管理システム: Chemical substances Management System) を設立。お客様のグリーン調達ガイドラインや年々増える高懸念物質

(SVHC)への要求に対し、化学物質情報の適切な管理とスムーズな情報伝達に注力しています。現在では JAMP-GP (電気業界)、IMDS (自動車業界) にも対応可能となり、お客様の多様なニーズに応えています。

CMSグループお客様対応状況

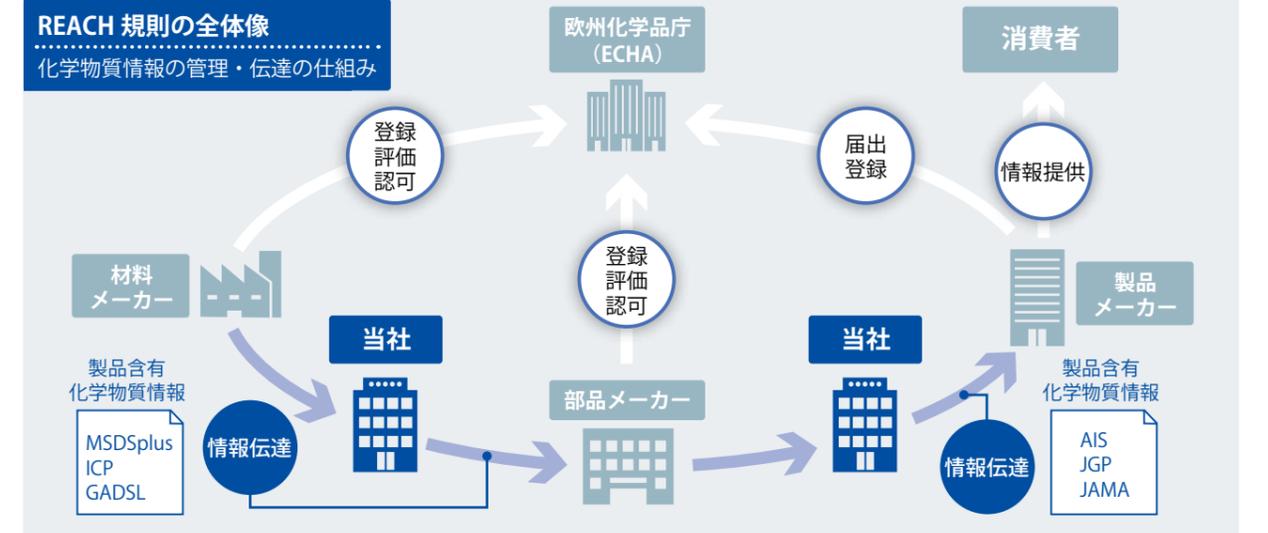


紛争鉱物関連

対応客先数：56 社 / 情報提供件数：114 件

REACH 規則の全体像

化学物質情報の管理・伝達の仕組み



2014 年度環境会計のご報告

菱電商事グループは環境経営を促進するため、環境保全に要したコストとその効果を算出・分析し、経営に反映させる「環境会計」に取り組んでいます。こうした取り組みを通じ、当社グループはこれからも低炭素社会と循環型社会の形成に貢献していきます。

※当社の環境会計は、物量単位 (t-CO₂) に比重を置いています。

1. 環境保全コスト 集計範囲は国内全事業所、国内関連会社です。

項目	範囲	費用額 (千円)	
事業エリア内コスト	公害防止コスト	34	
	地球環境保全コスト	省エネルギー対策、地球温暖化防止等のコスト	9,501
		太陽光設備のコスト	66,758
	資源循環コスト	産業廃棄物の運搬・処分委託費用	8,137
産業廃棄物保管場所維持費用		0	
外部支出	上・下流コスト	407	
管理活動コスト	ISO14001 認証維持費用	1,804	94,688
	内部監査に係る費用	789	
	環境報告書作成・その他	4,010	
	環境グローバル	2,110	
社会活動コスト	社会活動における環境保全コスト (環境保全を行う団体等への寄付、支援等のコスト)	1,138	
環境損傷対応コスト	環境損傷に対するコスト	0	
社内支出	管理活動コスト	37,606	
合計		132,294	

環境保全コスト (外部支出) の推移



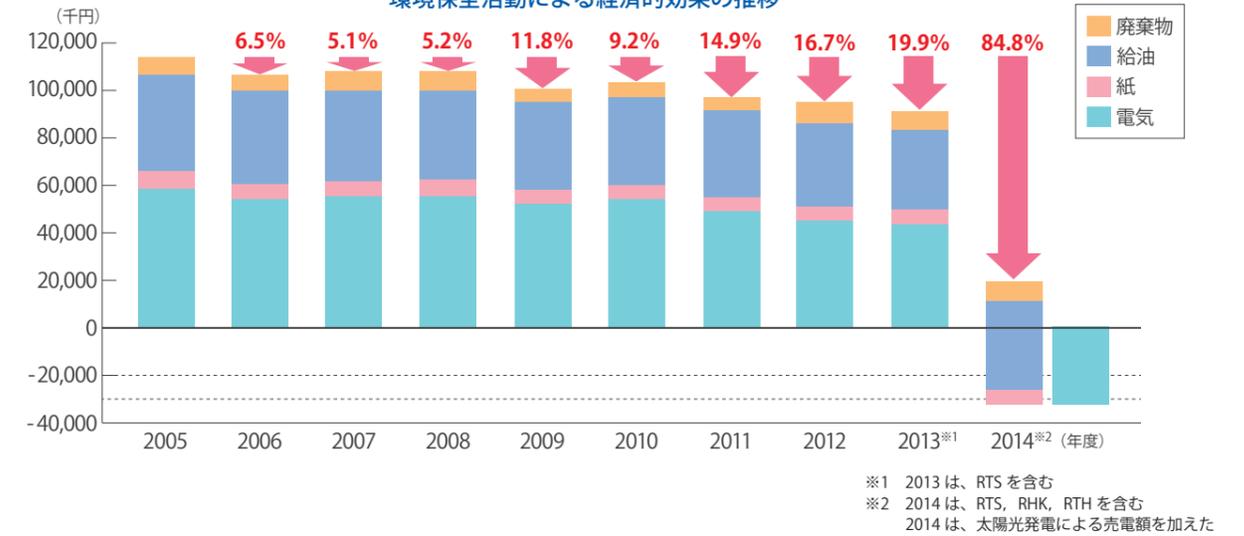
2. 環境保全活動による経済的効果 集計範囲は国内全事業所、関連会社です。

項目	範囲	費用削減額 (千円)		
		実績 (補正前)	補正後	
事業エリア内効果	地球環境保全コスト	電気消費量削減効果	5,057	17,222
		太陽光発電の売電金額	73,997	73,997
		コピー用紙等使用量削減効果	584	584
	資源循環コスト	車輜給油量削減効果	-696	5,461
		産業廃棄物排出量・処分量削減効果	-717	-717
上・下流効果	リサイクル部品等の売却による効果	47	47	
管理活動効果	グリーン購入における効果	0	0	
合計	管理活動の効率化等による効果	0	0	
合計		78,272	96,594	

※経済的効果の金額は、2005 年度実績と対比しております。(環境保全効果量=2005 年量-2014 年量)
 ※環境配慮商品の拡販活動による売上高貢献分は算出しておりません。
 ※補正後の金額は、2014 年度給油量、電力量を 2005 年度価格で換算したものです。

環境活動による経済的効果の推移を確認するため、影響のある外的要因 (ガソリン価格・電気料金) を補正した推移表を作成しました。

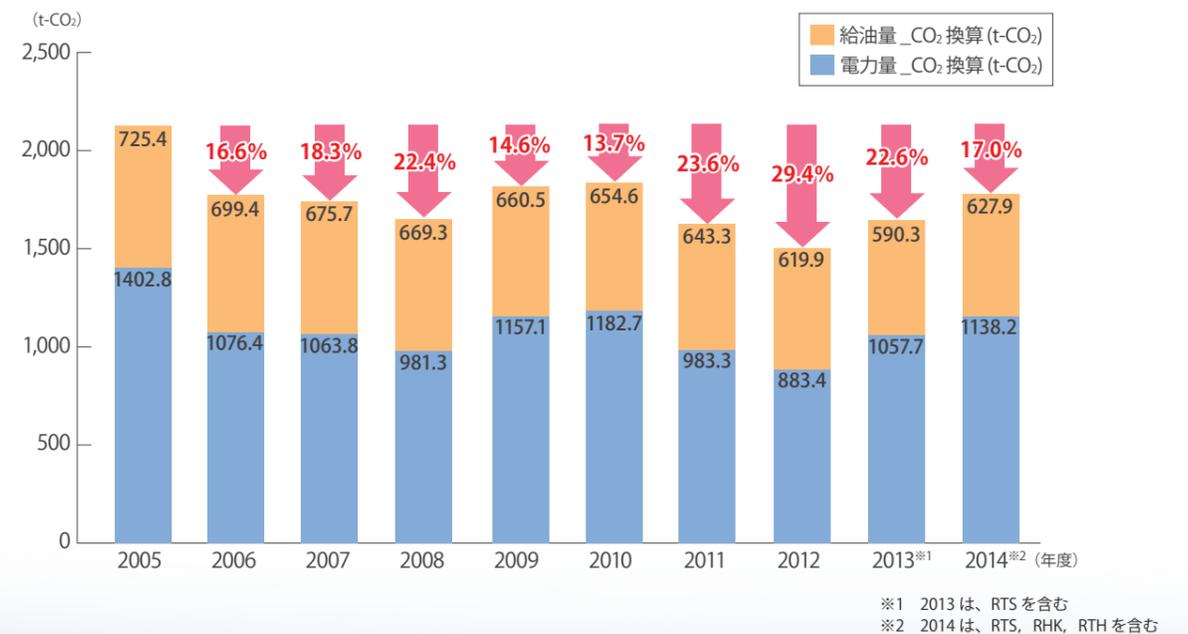
環境保全活動による経済的効果の推移



3. 環境保全活動による地球温暖化 (CO₂ 排出量) の低減効果

内容		t-CO ₂	
排出量	電力消費による CO ₂ 排出量	1,138.2	1,766.1
	ガソリン消費による CO ₂ 排出量	627.9	

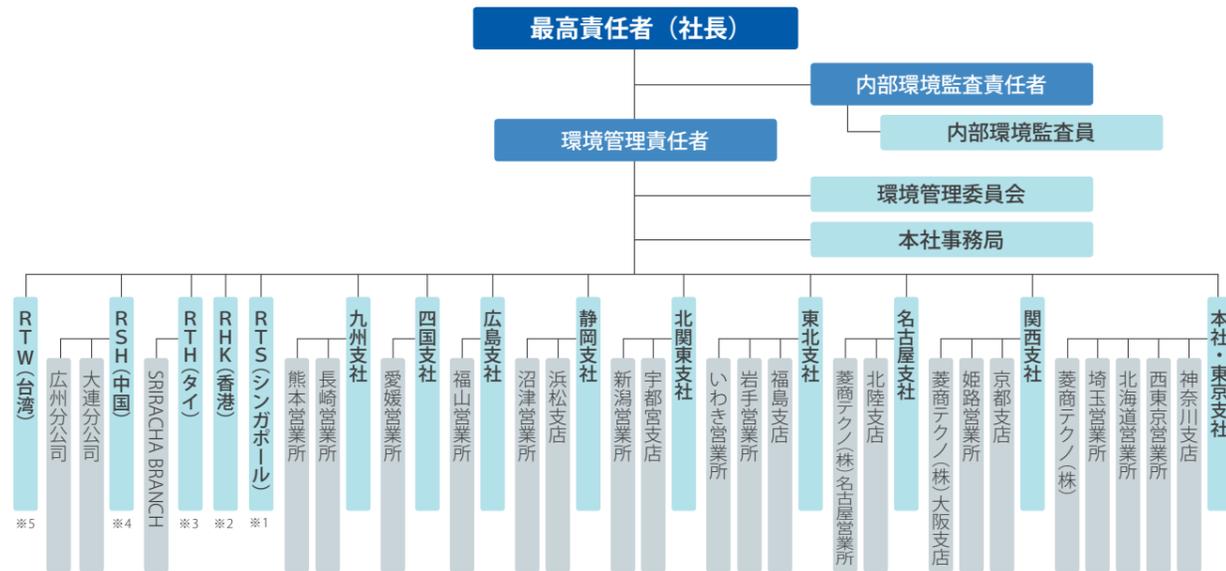
温室効果ガス排出量の推移



環境管理組織と環境活動の歩み

菱電商事グループでは、グループ一体となって環境経営を推進するために、組織横断的な環境管理組織を設置。社長を最高責任者として国内外に 38 サイトがあり、環境活動を行っています。

環境管理組織



環境活動の歩み

- | | |
|---|--|
| <p>2001.12 本社・東京支社、関西支社、名古屋支社、菱幸が ISO14001 認証取得</p> <p>2002.12 国内全事業所が ISO14001 認証取得</p> <p>2003.06 環境報告書（現：サステナビリティレポート）発刊</p> <p>2004.12 菱商テクノ拡大で ISO14001 認証取得（国内全子会社認証取得）</p> <p>2005.08 環境活動意識度調査開始</p> <p>2006.04 環境家計簿開始</p> <p>2006.09 上席内部監査員資格制度新設</p> <p>2006.10 監査リーダー会議初開催</p> <p>2007.05 社会貢献活動開始（地球環境保全活動、エコキャップ回収運動等）</p> <p>2012.01 日経「環境経営度調査」商社部門ランキング 11位</p> | <p>2012.09 サステナビリティレポート（英語・中国語版）発刊</p> <p>2013.09 シンガポールで地球環境保全活動を実施</p> <p>2013.12 シンガポールの海外販社 RTS^{*1} が菱電商事グループとして ISO14001 認証拡大</p> <p>2014.01 日経「環境経営度調査」商社部門ランキング 10 位</p> <p>2014.03 宮城県栗原市、北関東支社、浜松支店に設置した太陽光発電始動</p> <p>2014.03 Fukushima さくらプロジェクトに参加</p> <p>2014.12 香港の海外販社 RHK^{*2} とタイの海外販社 RTH^{*3} が菱電商事グループとして ISO14001 認証拡大</p> <p>2015.01 日経「環境経営度調査」商社部門ランキング 10 位</p> <p>2015.04 中国の海外販社 RSH^{*4} と台湾の海外販社 RTW^{*5} が新たに環境活動を開始</p> |
|---|--|

※1 RYOSHO TECHNO SINGAPORE PRIVATE LIMITED の略称
 ※2 菱商香港有限公司 / RYOSHO HONG KONG COMPANY, LIMITED の略称
 ※3 RYOSHO (THAILAND) COMPANY, LIMITED の略称
 ※4 菱商電子（上海）有限公司 / RYOSHO ELECTRONICS (SHANGHAI) COMPANY, LIMITED の略称
 ※5 台湾菱商股份有限公司 / RYOSHO TAIWAN COMPANY, LIMITED の略称

2015 年度の取り組み

2015年度は、下記の3つの大きな柱を中心に環境活動を行います。2015年度も前年度に引き続き、低炭素社会実現と循環型社会の形成に向けた取り組みの強化と社会貢献活動継続実施を推進します。従来のエコプロダクツに変え事業活動を環境目標に設定し、事業プロセスと環境活動の統合を実現しました。4月からは中国の海外販社 RSHと台湾の海外販社 RTWが環境活動をスタートしています。

2015 年度の環境活動の 3 つの柱

- #### 1 エコオフィス

 - 電気使用量の削減 2015 年度目標：2010 年度比 18.4 %削減
 - 紙の使用 2015 年度目標：森林循環紙の使用
 - 廃棄物最終処分量の削減 2015 年度目標：最終処分量率 0.9 %以下
 - 営業車の燃費向上 2015 年度目標：2011 年度比 5.0 %向上
- #### 2 事業プロセスと環境活動の統合

当社の事業活動が地球環境に有益であることから、全事業所で事業計画を有益な環境影響評価し事業活動を環境目標に設定しました。（全 55 目標設定）

目標例) 事業本部：システムソリューションの売上
 本社総務部：環境経営の強化（環境設備投資額など）
- #### 3 社会貢献活動

 - 地球環境保全活動：地域に密着した環境活動（生物多様性保全のため）
 - Fukushima サクラプロジェクトへの継続参加など



わたし×CSR

菱電商事グループの環境活動をさらに推進していきます

菱電商事グループ環境活動の支社事務局として、目標策定や帳票作成、実績集計を行うとともに、支社内への周知、運営を担当しています。目標値設定には、環境関連の設備投資（今期は照明の LED 化導入）や車の入替等の影響を加味しなければならず、細かな数値計算が発生するので苦労もありますが、毎月集計して結果が目標値をクリアしていると達成感があります。特に目標未達で、さまざまな施策を考えて取り組んだ結果、ついに目標を達成したときは本当に嬉しいです。今後も支社事務局として運営や法律に関する知識を増やし、菱電商事グループの環境活動をさらに推進していきたいです。



菱電商事株式会社
北関東支社 総務部総務課

生物多様性保全につながる社会貢献活動

当社の社会貢献活動の取組は8年目を迎えました。

2014年度は、家族を含む延べ669名の従業員が活動に参加しました。

<p>■ 本社・東京支社</p> 	<p>「東京グリーンシップアクション」参加</p> <p>主催 東京都環境局 実施月 5月、10月 参加延べ人数 132名</p> <p>活動概要 「清瀬松山緑地保全地域」にて、東京都、NPO法人、企業が協力して環境保全活動を実施しています。</p> <p>支社からのコメント 落枝整理、帰化植物除去、木柵補修を中心とした活動を行うと共に、NPO法人の協力の下、身近に生息する外来植物も知ることが出来、美化活動に貢献できたと思います。</p>
<p>■ 関西支社</p> 	<p>「アドプトプログラム」参加</p> <p>主催 大阪府 実施月 4月、7月、10月、2月 参加延べ人数 170名</p> <p>活動概要 アドプトリバープログラムとは河川の美化活動です。当社は神崎川の十八条大橋から三国橋までの約2.5Kmの清掃を実施しています。</p> <p>支社からのコメント 清掃活動（アドプトリバー）も、定期的に行われ、毎回数十名の参加があります。この活動についても意識は定着してきたと思われます。河川敷の清掃や不法投棄物の除去を中心に美化活動に努めています。</p>
<p>■ 菱商テクノ大阪支店</p> 	<p>事務所近隣公園の清掃活動</p> <p>主催 独自企画 実施月 6月、11月、2月 参加延べ人数 28名</p> <p>活動概要 事務所近隣の公園の清掃活動を行いました。</p> <p>支社からのコメント 毎回10名程度で隣接する児童公園の清掃活動を継続しております。</p>
<p>■ 名古屋支社</p> 	<p>「なごや東山の森づくりの会」参加</p> <p>主催 NPOなごや東山の森づくりの会 名古屋市協力 実施月 7月、11月 参加延べ人数 140名</p> <p>活動概要 間伐作業、段々畑の敷地整備を行いました。</p> <p>支社からのコメント 東山公園の森づくりのため、採光環境改善として7月には、木々、雑草伐採作業、不法投棄ごみ回収、11月には木々間伐作業に加え、枯葉回収を行いました。活動後の山林は、来春に向けて暖かな日差しを地面一杯に受け、小さな木々が芽吹き、里山保全を実感できる活動になりました。</p>
<p>■ 東北支社</p> 	<p>「鶴ヶ城プロジェクト」参加</p> <p>主催 さくらプロジェクト 実施月 3月 参加人数 12名</p> <p>活動概要 鶴ヶ城城址公園清掃活動を実施しました。</p> <p>支社からのコメント 会津若松/鶴ヶ城で清掃を実施、場内はきれいではありましたが、パンフレットごみ・空缶等を拾い分別整備しました。プロジェクト観覧もでき有意義な一日となりました。</p>
<p>■ 北関東支社</p> 	<p>「赤城山覚満淵周辺のササ刈り活動」参加</p> <p>主催 赤城山の自然保護活動推進協議会 実施月 11月 参加人数 29名</p> <p>活動概要 ニッコウキスゲやレンゲツツジ等の保護のために、ササ刈りを実施しました。</p> <p>支社からのコメント 県民に親しみの深い赤城山の環境保全活動で、群馬県、前橋市、多数団体の協力の下、今回で3回目の参加となりました。今後も継続して参加する事により、地域に密着した支社としての役割を果たしていきたいと考えております。</p>
<p>■ 宇都宮支店</p> 	<p>児童養護施設 下野三楽園の施設整備</p> <p>主催 北関東支社 下野三楽園 実施月 5月 参加人数 15名</p> <p>活動概要 下野三楽園の施設整備を実施しました。</p> <p>支社からのコメント 下野三楽園は緑豊かな地域にあり、子供達が使用する野球グラウンド等がありますが、同施設の職員が少なく整備まで行き届かないのが現状です。本活動を通じて、施設内の雑草の伐採等を行い、地域社会に対する奉仕の重要性を改めて実感することが出来ました。</p>

<p>■ 静岡支社</p> 	<p>「静岡市河川環境アドプトプログラム」参加</p> <p>主催 静岡市 実施月 5月 参加人数 24名</p> <p>活動概要 静岡市河川環境アドプトプログラムに参加しています。回収したゴミは参加者が持ち帰り、家庭ごみとして排出します。</p> <p>支社からのコメント これまで同一河川を継続して清掃してきましたが、年々同地域の参加団体が増加し、ゴミの収集量の減少が顕著になってきました。継続的な活動による地域全体としての美化意識がある程度確立されたものと判断し、清掃担当地域を去年より変更、登録団体の少ない地域へ移り、清掃活動を行う事としました。活動に対する社員の参加意識は醸成され、毎年安定した参加率となっております。</p>
<p>■ 浜松支店</p> 	<p>「ウェルカメクリーン作戦」参加</p> <p>主催 浜松市・静岡県 実施月 5月 参加人数 22名</p> <p>活動概要 ウミガメの産卵予定地である遠州浜の清掃を行いました。</p> <p>支社からのコメント 本活動は、アカウミガメの産卵場所ともなっている同海岸を清掃整備し、カメを迎え入れるための活動です。波で打ち上げられたゴミ等を手分けして収集し、活動全体で5.25t回収されております。</p>
<p>■ 広島支社</p> 	<p>「平和記念公園樹木いきいきボランティア」参加</p> <p>主催 財)広島県環境保健協会 広島市都市整備局 緑化推進部 実施月 12月 参加人数 25名</p> <p>活動概要 平和記念公園内の被爆樹木などの樹勢回復</p> <p>支社からのコメント 広島市都市整備局が主催のボランティア活動であり、世界遺産である原爆ドームに近い平和記念公園の樹木樹勢回復を主目的とし、市民の花と緑や平和に対する意識の醸成を図る活動に参加いたしました。</p>
<p>■ 四国支社</p> 	<p>支社周辺の清掃活動</p> <p>主催 独自企画 実施月 3月 参加人数 32名</p> <p>活動概要 当社周辺の清掃活動を行いました。</p> <p>支社からのコメント 前日夜から当日9時過ぎまで雨が降り、実施が危ぶまれたものの、何とか天候が回復し、滑りやすい状況の中、けが人も無く無事に終える事ができました。用水路周辺の雑草は例年同様生い茂った状態となっており、また周辺のゴミについても不法投棄されたものがありましたが、参加者の取り組みにより今年もきれいにすることができたと考えます。</p>
<p>■ 九州支社</p> 	<p>カブトムシの森の保全活動</p> <p>主催 独自企画 実施月 3月 参加人数 21名</p> <p>活動概要 森の保全活動とし、ボランティアグループに協力頂きながら当社単独で実施しました。</p> <p>支社からのコメント 落ち葉かき、草刈り、不要な樹木の除伐の3グループに分かれての作業を実施。不要な樹木は勿論ですが、落ち葉も地面に積もり過ぎては樹木にはよくないとのこと、大量の落ち葉かきを実施しました。当日は天候もよく、楽しみながら作業を実施出来ました。</p>
<p>■ RTS</p> 	<p>「Clean up activity at East Coast Park 2014」参加</p> <p>主催 Green bird 実施月 11月 参加人数 19名</p> <p>活動概要 East Coast Parkの海岸の清掃</p> <p>支社からのコメント 今回の会場となった East Coast Park は、シンガポールの東海岸沿いの大きな公園で、各種スポーツや散歩、食事など、週末には大変多くの人々が集う憩いの場です。当日も多くの人が賑わっており、その中で、参加者が園内を周り、プラスチックゴミや煙草の吸い殻など、多くのゴミを拾い、広範囲の公園、海岸をクリーンアップ出来ました。</p>



復興を願う「fukushima さくらプロジェクト」

震災からの復興のシンボルとして、新種の桜「はるか」を、福島県から広めていく取り組みが「fukushima さくらプロジェクト」です。当社は社会貢献活動のひとつとして、このプロジェクトに協賛しています。かつてない甚大な被害をもたらした東日本震災ですが、時間の経過とともに人々の関心は薄れつつあるようです。しかし被災地では、今でも

避難生活をつづける方、家族が行方不明のまま辛い思いをされている方などが数多くいらっしゃいます。震災を忘れず、支援につづける気持ちを、当社は「はるか」の健やかな成長と普及に託しました。桜は苗木の育成に数年、植樹から花を咲かせるまでにはさらに数年を要します。「はるか」がゆっくりと育つように、復興にも息の長い応援を継続していきます。

「fukushima さくらプロジェクト」▶ <http://www.fukushimasakura.jp/>

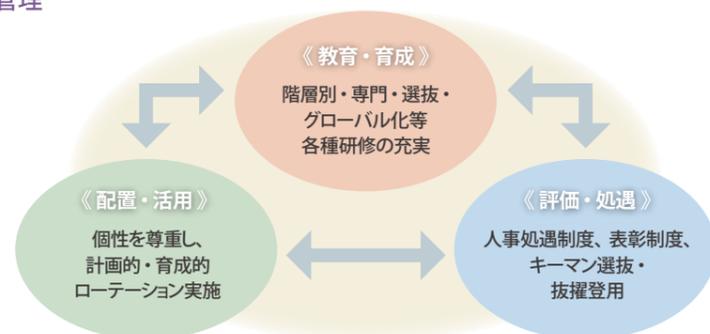
社員とその家族への責任

社員の誰もが働きやすい快適な職場環境の中で、一人ひとりが やりがいを持って働き、仕事を通じて成長を続け、グローバルな場面で活躍しつづける人材となること。それが菱電商事の基本的な人事目標であり、その基盤となる、働く人の多様性を尊重し、社員とその家族の安心感の拡充に注力していきます。

働き甲斐のある職場環境づくり

菱電商事は、「従業員と会社の両方に最大の成果を生み出すことを追求する」ことを人事管理の基本理念とし、従業員一人ひとりが自己実現を目指す中で、仕事を通して自らの価値を高め、成果を生み出す人材づくりに取り組んでいます。

■ “三位一体の人事管理”



■ 個々のスキル、役割、成果に基づく人事処遇制度

定量的な成果だけでなく、定性的な行動プロセス目標の達成度も重視し、高い目標にチャレンジしていける風土づくりを行っています。また、一人ひとり個別の育成・活用シートを作成し、社員の成長につなげています。

■ さまざまな側面からの教育・育成

業務遂行を通じた職場での育成をベースに、充実した Off-JT（職場外研修：Off the Job Training）を実施しています。新入社員研修からはじまり、階層別に人間力・ビジネススキルの向上を図る研修、役職や担当職務に必要な専門知識・スキルを習得する研修、ソリューションビジネス推進のための技術教育などを進めています。特にグローバルに活躍できる人材の育成は重点課題であり、海外派遣型研修などを積極的に実施しグローバル人材育成を加速しています。



ディスカバリーワークショップ研修

入社3年目の総合職全員が、自分で渡航国を選び、2週間の行動計画を立て、通訳・ガイドなしに、自力で訪問先のアポイントを取り、計画通り行動してくる。自主自立の実践、グローバル人材のベース作りを目的としている。



新入社員チームビルディング研修

山奥の研修所で、自炊生活をしながら、力を合わせて難解な課題をクリアしていくことで、チーム力の必要性を実感するとともに、お互いの深い理解につながるコミュニケーション力を習得する。

ワーク・ライフ・バランス推進のための働きやすい環境づくり

子育てや介護、高齢期など、従業員がそれぞれのライフステージに応じて能力を十分に発揮できる良質な環境づくりに取り組んでいます。

■ 従業員の安心につながる休暇制度の充実

菱電商事では、失効した年次有給休暇を一定の日数まで積立保存できるようにしています。積立保存した有給休暇は、育児休業を満了し保育所への入所を希望していても入所できない場合や従業員の私傷病、家族の介護などに使用することができます。また、半日単位や時間単位で有給休暇を取得できるようにするなど、従業員が安心して仕事ができるよう制度の充実に努めています。

■ 育児・介護に関する支援制度

従業員の育児や家族の介護を支援するために、育児・介護休業法に基づいて各種制度を整備しています。また、法令を上回る制度として以下のような環境整備を行っています。

- ①産前産後の休業期間を、有給の産前産後休暇として取得できるようにしています。
- ②育児のための勤務時間短縮措置を、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合に適用できるようにしています。

■ ライフステージに応じた研修制度

研修制度において、今後の人生設計を支援する世代別セミナーを開催しています。30歳からのマネー・ヘルスプランやキャリア形成をはじめ、50歳代では退職後に向けての生きがいや生涯設計、健康増進、家庭経済などに関するアドバイスやサポートを行っています。



50代ライフプランセミナー

退職金や年金制度の説明、退職後のいきがい・生活設計・マネープラン、健康増進などに関する研修。夫婦で参加する社員が多く、楽しく充実した時間を過ごす。写真は、健康体操で楽しく盛り上がり、ひと汗流しているシーン。

わたし×CSR

重要な財産である人材の採用・研修をさらに充実させていきます

新卒やさまざまなスキルを持ったキャリア人材の採用と入社後の Off-JT 研修の企画・実施を行っています。人材採用については、菱電商事グループに必要な人材と応募者の特徴を短い面接などの採用選考で見極めることに苦労しますが、採用した人材が力を発揮し楽しくのびのびと働いている姿を見たときはこの仕事にやりがいを感じます。また、研修の中で社員が気づきを感じ、仕事における行動や考え方に変化が見えたときは本当に嬉しいです。これからも菱電商事グループの重要な財産である“ヒト”の採用・研修のさらなる充実に向けて尽力していきます。



菱電商事株式会社
人事部採用・育成課
板垣 利威

「環境家計簿」の取り組み

「環境家計簿」とは、家庭での電気、ガス、水道、灯油、ガソリンの使用量を集計し、CO₂排出量として算出するものです。菱電商事グループでは2006年度から「環境家計簿」の取り組みを行っています。

2010年以降の一家庭あたりのCO₂排出量をグラフ化しました。2011年度は原子力発電所の停止による電気のCO₂排出量増加の影響がありましたが、2012年度以降は省エネ意識の定着化により、排出量が削減されてきています。

一家庭あたりCO₂排出量の変化



日経 第18回「環境経営度調査」 商社部門ランキング第10位



菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

TEL03-5396-6111 FAX03-5396-6448

<http://www.ryoden.co.jp>



このレポートは、適切に管理された森林で生産されたことを示すFSC® 森林認証紙を使用しています。



印刷には生分解性や脱臭性に優れ、印刷物のリサイクルが容易なベジタブルインキを使用しています。

本レポートは「エコとじ」を採用しています。
※「エコとじ」:環境に配慮し、針金を使わずのりを使って綴じているので安全性が高くリサイクルが可能です。